

製品安全データシート

会社名: 株式会社シー・ジー・エス	
住所: 東京都目黒区東が丘 2-12-3	
埼玉支店 埼玉県深谷市荒川 909	
緊急連絡先: 株式会社シー・ジー・エス	
担当者: 八木 実	
電話番号: 048-579-0451	
FAX番号: 048-579-0455	
【整理番号】	0001 改訂 2013年5月2日
【製品名】	エイトアップ液剤
【物質の特定】	単一製品・混合物の区分: 混合物 有効成分: 化学名; イソプロピルアンモニウム=N-(ホスホノメチル) グリシナート…… 41.0% 水、界面活性剤: …………… 59.0% 化学式; C ₃ H ₈ N ₀ O ₅ P CAS登録番号; 38641-94-0 国連分類; 該当せず
【危険・有害性の分類】	分類の名称: 該当せず 危険性: 該当せず 有害性: 眼に入った場合、軽度の刺激がある。 環境影響: 本剤は非選択性の除草剤であり、大量に漏出した場合は周囲の有用植物に対する影響を避けるため、流亡を防止する。
【応急措置】	眼に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗眼する。痛みが残る場合は、医師の手当を受ける。 皮膚に触れた場合: 汚染した衣類、靴などを脱ぎ、触れた部分を水でよく洗う。 飲み込んだ場合: 直ちに水または牛乳を飲ませ、医師の手当を受ける。
【火災時の措置】	消火方法: 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火器などを用いる。大規模火災の場合は、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。 周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な場合は、すみやかに安全な場所に移す。 消火作業の際には必ず保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。 消火剤: 水、泡、粉末、炭酸ガス
【漏出時の措置】	<ul style="list-style-type: none">漏出物の除去にあたっては、ゴム長靴またはオーバースューズの着用等、【暴露防止措置】の項に記載の保護具を着用する。少量の場合、漏洩液はおがくず、ウエス、砂などに吸収させ、空容器に回収する。多量の場合、土砂などで流亡を防止し、吸収、拭き取り、吸引等によって回収する。周囲の有用植物に漏出液が流入しないよう注意する。回収後の漏出部位を水等で洗浄する場合も、洗浄液が周囲の有用植物に流入しないよう注意する。漏出液がしみこんだ土壌は掘り取り、金属製ドラム等に入れ、【廃棄上の注意】の項にしたがって処分する。漏出した容器は、漏出しない容器と分け、内容物を別の容器に移し、空の容器は【廃棄上の注意】の項にしたがって処分する。回収した漏出液も同様に処分する。
【取扱いおよび保管上の注意】	<ul style="list-style-type: none">眼および皮膚に軽度な刺激性があるので、眼に入ったり、皮膚につかないよう注意する。取扱い後は、手や顔を水でよく洗う。水系、有用植物に飛散または流入しないよう注意する。廃液または散布器具の洗浄液を水系に流さない。保管の際は、直射日光を避け、鍵をかけた場所に保管する。
【暴露防止措置】	設備対策: 特別な対策は必要としない。 保護具: 保護眼鏡、長袖の作業衣、長ズボンを着用する。 暴露基準: 産業衛生学会: なし OSHA PEL: なし ACGIH TLV: なし

【物理／化学的性質】

外観： 黄褐色水溶性液体
 臭気： 弱いアミン臭
 比重： 1.172
 pH： 4.8
 水；可溶
 分配係数： (原体) log Pow = -3.61

【危険性情報】 (安定性・反応性)

引火点：
 発火点：
 安定性： 安定

【有害性情報】

急性毒性： 経口 ラットLD50 ♀♂ > 5000mg/kg、マウスLD50 ♀♂ > 5000mg/kg
 吸入 ラット♂約16ml/m3、♀約30ml/m3
刺激性： 眼一次刺激性 (ウサギ)
 希釈しない製剤は軽度の刺激があるが、20倍に希釈すると刺激性はない。
 皮膚一次刺激性 (ウサギ)
 未希釈の製剤は軽微な刺激あり。
感作性： モルモットに対して陰性
変異原性： 各種の試験で陰性
遅発性神経毒性： 陰性
亜急性、慢性毒性： 亜急性毒性試験として、ラット、マウスおよびビーグル犬を用い、原体の3カ月間経口投与試験が行われている。
 ラットを用いた試験では、高用量で下痢または軟便、飲水量の増加、尿pHの酸性化、体重増加の抑制、各種血液学および血液生化学的パラメータの変化、肝および腎重量の増加、盲腸、肝、腎に肉眼的または病理組織学的変化が認められている。
 マウスを用いた試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、摂餌量の減少が認められている。
 ビーグル犬を用いた試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、GOT値の軽度な増加、回腸および直腸に病理組織学的変化が認められている。
 慢性毒性および発がん性試験として、ラットを用いた慢性毒性/発がん性試験、マウスを用いた発がん性試験およびビーグル犬を用いた慢性毒性試験が行われている。
 ラットを用いた慢性毒性/発がん性試験では、高用量で下痢、軟便、尿に対する影響、体重増加の抑制および血液学的影响、および病理学的影响が認められている。
 マウスを用いた発がん性試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、摂餌量の減少、直腸および腎の非腫瘍性病変の増加が認められている。
 発癌性を示唆する変化は認められていない。
 ビーグル犬を用いた慢性毒性試験では、高用量で便性状の異常を中心とした変化が認められている。
繁殖試験および催奇形性試験： 繁殖試験として、ラットを用いた2世代の試験が行われている。高用量では親動物で下痢、体重増加の抑制、摂餌量の減少、消化管に肉眼的および病理組織学的影响が認められ、仔動物では体重増加の抑制が認められている。繁殖性については、影響が認められていない。
 催奇形性試験として、ラットおよびウサギで試験が行われている。いずれの試験でも最高投与量で催奇形性は認められていない。

【環境影響情報】

魚毒性： 魚類(コイLC50(96時間)) 7.50mg/L
 ミジンコ類(オオミジンコEC50(48時間)) 60.4mg/L、藻類(72時間) 34.0mg/L

【輸送上の注意】

- 運搬に際しては容器に洩れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 農業取締法に定めるところに従う。

【廃棄上の注意】

- 散布器具、容器の洗浄液は河川等の水系に流さず、空の容器は環境に影響を与えないよう安全に処理する。
- 薬液が残らないよう、必要量を希釈し、希釈液は全て散布する。
- 空になった容器は水で洗浄し、洗浄液は散布液に加えて全量を使用する。
- 土中への埋没は避ける。

【適用法令】

農業取締法：除草剤、農林水産省登録 第18815号
 化審法：既存化学物質 N-（ホスホノメチル）グリシン